

国内でもっとも絶滅のおそれのある チョウ類および昆虫類の保全体制の構築

ひろげる助成

2年目

実践

保全活動を
実施した対象地 **4か所**

保全活動参加者 **31人**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **70%**



アガハネバッタの保全作業(草刈り)

活動内容と成果

●対象地域は4か所で、それぞれで、チョウ、昆虫類の生息状況・生息環境の調査、生息環境の保全作業、地域の保全体制の構築、の三つの活動について取組みを行った ●生息状況では、4か所のうち1か所で、保全の成果によって個体数が1.5倍に増加したが、残りは現状維持または減少であった ●保全作業では、4か所のうち3か所で、活動開始時よりも好適な生息環境が120%以上に増加し、残り1か所でも取組みを進めており、好適な環境は増加している ●各対象地域で、保全体制の構築を進めており、1年目より進展した



アガハネバッタの保全作業(草刈り)

課題

自然環境の悪化とともに、チョウや昆虫類の絶滅危惧種の総数は年々増え続けている。しかし、これらを保全するための取組みは不足しており、危機的な種が少なくない。

目標

対象チョウ・昆虫類の生息環境が改善されるとともに、生息状況が良くなり、対象種の絶滅リスクが低減する。そして、保全するための地域の体制が確立する。



今後の
展望

次年度は、助成後の活動の継続を見据え、体制の確立を進めることに重点を置き、地域の方々の一層のご理解、ご協力を得るために、連携した取組みを進めていきたい。

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

近年の異常気象や気候の変動が悪影響を与えている可能性があり、生息状況を好適に維持することが難しくなっている。

■工夫した点

対象種の保全の鍵となる部分を深く理解し、効果的な保全対策を実施することに重点を置いた。

| 活動地域 |  日本全域

〒140-0014
東京都品川区大井4-1-5-201
電話：03-3775-7006
E-mail：jbcsc@japan-inter.net
<http://japan-inter.net/jbcsc/>

